岐阜県政記者クラブ加盟社　各位

令和５年２月３日（金）　岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
病害虫防除所	企画情報係	堀之内	直通 058-239-3161 ＦＡＸ 058-234-0767
農産園芸課	ぎふ清流GAP 推進係	林、水野	内線 4113 直通 058-272-8428 ＦＡＸ 058-278-2692

病害虫発生予察特殊報（第５号）を発表
（モトジロアザミウマ）

本県において、初めてモトジロアザミウマによる農作物の被害が確認されたため、別添のとおり、発生予察特殊報*を発表しました。

記

作 物 名　：フィロデンドロン
病害虫名　：モトジロアザミウマ
発生地域　：西濃地域

〇防除についての相談先
岐阜県病害虫防除所（TEL：058-239-3161）へお問い合わせください。

〇その他
特殊報については、以下のＨＰをご確認ください。
https://www.pref.gifu.lg.jp/page/99600.html

＊発生予察特殊報
・病害虫防除所は、植物防疫法第２３条第２項に基づき、農作物の病害虫の発生状況を把握するための調査を行っています。
・同所は、県内で新たな病害虫の発生を確認した場合は「発生予察特殊報」を発表し、農業者に注意喚起します。

令和４年度病害虫発生予察特殊報　第５号

令和５年２月３日
岐　　阜　　県

１　作 物 名　　フィロデンドロン

２　病害虫名　　モトジロアザミウマ　*Echinothrips americanus* Morgan

３　発生地域　　西濃地域

４　発生状況

令和４年１１月に西濃地域の花き施設ほ場（１ほ場）において、サトイモ科観葉植物であるフィロデンドロンに、葉の周辺部が黄化した症状が観察され、暗褐色のアザミウマ類の寄生していることが確認された（写真１～２）。本虫を採集し、農林水産省名古屋植物防疫所に同定依頼した結果、モトジロアザミウマと同定された。

モトジロアザミウマによる農作物への被害は、これまでに、東京都、愛知県、高知県、鹿児島県、香川県、栃木県、宮崎県、福島県、大分県の１都８県において確認されている。

被害作物は、インゲンマメ、シソ、ミョウガなどの野菜類のほか、ディーフェンバキア、シンゴニウムなどのサトイモ科の観葉植物や、ハイビスカス、ポインセチアなどの花き類でも報告がある。

５　形態及び生態

モトジロアザミウマは、北アメリカ原産の侵入害虫であり、古くから侵入を受けたヨーロッパでは広く分布し、中国へも侵入している。国内では 1999 年に東京都（小笠原諸島）で最初に確認され、その後各地でも確認されている。体色は暗褐色で、前翅の基部および中央部が灰白色であるため、体色に比して白く目立つ（写真３）。また、頭部、胸部および腹部の各節間は赤味を帯びる。体長は雌成虫が約 1.3㎜、雄成虫が約 1.2㎜ である。2 齢幼虫の後、蛹を経て成虫となる。1 齢幼虫は体長約 0.5㎜で、2 齢幼虫は体長 0.7～1.2㎜ で体色は黄色である（写真４）。

広範囲の植物に寄生し、野菜では、キュウリ、メロン、シソ、ナス、トマト、ピーマン、ミョウガなど、花きでは、ポインセチア、ハイビスカス、インパチェンス、バラなどを食害する。食害を受けると葉の艶がなくなり、かすり状となることや、葉辺縁部が黄化する場合がある。

６　防除対策

（１）　発生が認められた場合には、花き類・観葉植物のアザミウマ類に適用がある薬剤

を用いて、株全体に薬液散布する。

（２） 栽培施設の開口部に防虫ネットを張り、施設内への侵入を防止する。

（３） 広食性の害虫であることから、雑草に寄生する可能もあるため、ほ場周辺の除草を徹底する。

７　引用文献

・伊藤啓司・大野 徹（2003）植物防疫 57: 223-225

写真１　被害を受けたフィロデンドロン苗
（矢印：周辺部が黄化した被害葉）

写真２　葉上に寄生している実際の様子
（矢印モトジロアザミウマ成虫）

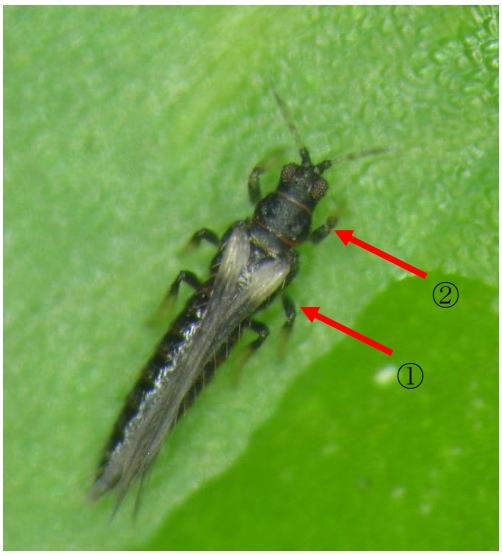

写真３　モトジロアザミウマ成虫
（矢印１：前翅の付け根の灰白色）
（矢印２：頭部と胸部の節間の赤み）

写真４　モトジロアザミウマ２齢幼虫